FMV Display

B6FY-6241-01 Z0

取扱説明書

FMV Display E2403

目次

マニュアルについて 3
マニュアルの表記について 3
安全上のご注意 4
お使いになる前に 8
1 使用上のご注意 10
液晶ディスプレイの特性について 10
使用環境についての注意 10
取り扱いについての注意 11
使用方法 12
2 各部の名称と機能 14
3 ディスプレイドライバーのインストール 17
初めて電源を入れるとき 17
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする 17
4 ディスプレイの設定 18
設定項目の内容 18
ジョイスティックとボタンの操作について 19
メニュー画面のホットキーを操作する 20
細かい設定を行う 23
ロック機能 30
5 その他の接続方法 31
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法 31
6 省電力機能 33
7 トラブルシューティング 34
画面が表示されない 34
画面がおかしい 34
画面が調節できない 35
音が聞こえない／変な音が聞こえる 35
8 日常のお手入れ 37
清掃する 37
9 リサイクル 38
10 仕様 39
本体仕様 39
標準表示仕様 41
外形図 42

マニュアルについて

本製品には、次の 2 種類のマニュアルがあります。

●スタートガイド
　ディスプレイの設置、接続までを記載しています。

●取扱説明書（このマニュアル）
　注意事項、画質の設定、トラブルへの対処方法など、詳細な使い方や設定手順を記載しています。

また、本製品を接続するコンピューターのマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルの表記について

■警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重 要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

　例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

　例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
FMV Display E2403	本製品

■商標および著作権について

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。
ENERGY STAR® および ENERGY STAR マークは、米国環境保護庁が所有する登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
Copyright 2026 Fujitsu Client Computing Limited

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

■液晶ディスプレイ本体

⚠警告

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。その後、故障・修理に関するお問い合わせ先またはご購入元にご連絡ください。

本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
故障・修理に関するお問い合わせ先またはご購入元にご連絡ください。

落としたり、カバーなどを破損したりしたときは、本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。故障・修理に関するお問い合わせ先またはご購入元にご連絡ください。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電、火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先またはご購入元にご連絡ください。

梱包に使用している袋類は、お子様の手が届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

お手入れのときなど、カバーをあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。
お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。また、誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん、コップなど液体の入ったものを置かないでください。また、本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こしたりする場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を充分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通気孔がある場合は、ふさがないでください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間当たらないでください。特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品を持ち上げたり運んだりする場合、液晶パネル面や液晶パネルの枠部分を持たないでください。
故障、けがの原因になります。
持ち上げたり運んだりするときは、画面の下の両端を持ってください。

イヤホン、ヘッドホンなどをお使いの場合は、長時間音量を大きくして聞かないでください。
難聴の原因となります。

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

ディスプレイの汚れを拭き取るときは、乾いた柔らかい布を使ってください。水や中性洗剤、液体クリーナーなどは使わないでください。
ディスプレイ内部に液体が入り込み、故障や発煙の原因になります。

お手入れなどを行うときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
故障、感電、火災の原因になります。

⚠注意

本製品を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因となることがあります。

ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。
けがの原因となります。

ディスプレイ画面の角度調整の範囲を超えて、無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルや AC アダプタのケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
- 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 接続されたケーブルなどを外してください。
- 作業は足元に充分注意して行ってください。

カバーや部品などが破損、脱落した場合は、使用を中止し、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。
- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- 手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン、イヤホン、ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置はお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

■電源ケーブル、AC アダプタ

⚠警告

AC アダプタや電源ケーブルを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
感電、火災の原因になります。
- AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついていたりする場合は使用しない
- AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えたりしない
- ケーブル類を傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない
- AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻き付けるなどして、ケーブル根元部分に負担をかけない
- 電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず必ず電源プラグを持つ
- ドライバーなどの金属を近づけない

電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因となります。

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。アースネジ付のコンセントが使用できない場合は、お近くの電気店または電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

添付または指定された以外の電源ケーブルや AC アダプタを本製品に使ったり、添付の電源ケーブルや AC アダプタを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因となります。

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

本製品のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

⚠注意

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

お使いになる前に

■保証書について

●保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
●修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
●保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
●保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
●本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
●保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■有寿命部品について

●本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
●有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
●本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
●摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
●本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
●1 日約 8 時間以上の連続運転などで早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。
＜主な有寿命部品一覧＞
LCD パネル、アルミ電解コンデンサ、AC アダプタ

■電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■本製品のご使用について

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

■本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

■J-MOSS グリーンマークについて

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
https://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

1　使用上のご注意

本製品の使用環境や取り扱い上の注意事項を説明しています。
本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→ P.4）もあわせてご覧ください。

液晶ディスプレイの特性について

次の項目は、液晶ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、コンピューターの省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によっては、むらおよび微少なはん点が目立つことがあります。
- 製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
- 製造工程や使用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。
- 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。

使用環境についての注意

本製品は精密機器です。使用環境に注意してご使用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

■結露について

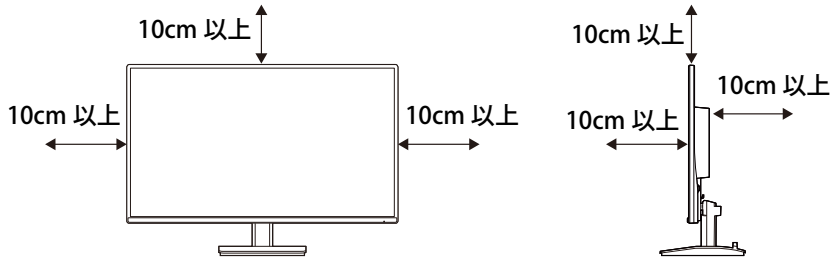
動作時、非動作時にかかわらず、本製品が結露しないようにご注意ください。結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。本製品を温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、本製品内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となります。本製品を移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

■ディスプレイをお使いになれない場所

- 直射日光のあたる場所
  液晶パネルを傷める場合があります。
- 水など液体のかかる場所
  内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。
- ほこりの多い場所や、油を使用する場所
  ファンに詰まったほこりや油分で放熱が妨げられ、故障の原因となります。また、ほこりが入り込むことで故障や機能低下の原因となります。
- 熱がこもりやすい場所（棚、ドア付 AV ラック、ふとんやクッションの上など）
  放熱が妨げられ、故障の原因となります。ディスプレイ本体および AC アダプタは平らで堅い机のうえなどに置いてください。
- 静電気の発生しやすい場所
  本製品は、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- 電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所
  故障や機能低下の原因となります。
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所
  本製品が腐食する可能性があります。
- 次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素等の塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近
  消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱いは、充分ご注意ください。故障や機能低下の原因となります。

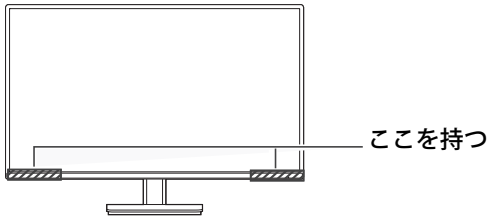
■設置スペースについて

●ディスプレイの上部、背面や側面との間は、10cm 以上のすき間を空けてください。



取り扱いについての注意

●衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
●ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面に傷が付く原因になります。
●持ち運ぶときは、画面やスタンド部を持たないで、画面の下の両端を持ってください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。



●液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向きや角度を調節してください。
●画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。画面の表面コーティングやカバーが、はげたり変質したりすることがあります。
●本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しています。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
●本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にコンピューターの電源を切ってください。
●本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
●本製品は電源を切っても待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●磁気ブレスレットや磁気ネックレスなど、磁気を発生するものを身につけたまま、操作しないでください。
画面が表示されなくなるなどの故障の原因となるおそれがあります。
●水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。
故障の原因になる可能性があります。
●ディスプレイ本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
●操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
●ディスプレイ本体に寄りかかったり、ディスプレイを支えにして立ち上がったりしないでください。

■ディスプレイを移動する場合の注意

●移動する前の準備
・必ずディスプレイの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。
・AC アダプタ、電源ケーブルや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、ディスプレイの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでディスプレイ本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
ただし、どのような避雷器をお使いになってもディスプレイ本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

●落雷について
落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類があります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。
・直撃雷
避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。
ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもディスプレイ本体を保護できないことがあります。
・誘導雷
ディスプレイの故障は主に誘導雷によって起こります。
雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。ディスプレイの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

●落雷時の故障について
落雷によるディスプレイ本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。
故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

■ディスプレイ

●外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
●画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
●ディスプレイの上端が目の位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
●ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
●目と画面の距離は、50cm 以上離すようにしましょう。

■使用時間

1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回とり入れましょう。

■入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が 90°　以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

■机と椅子

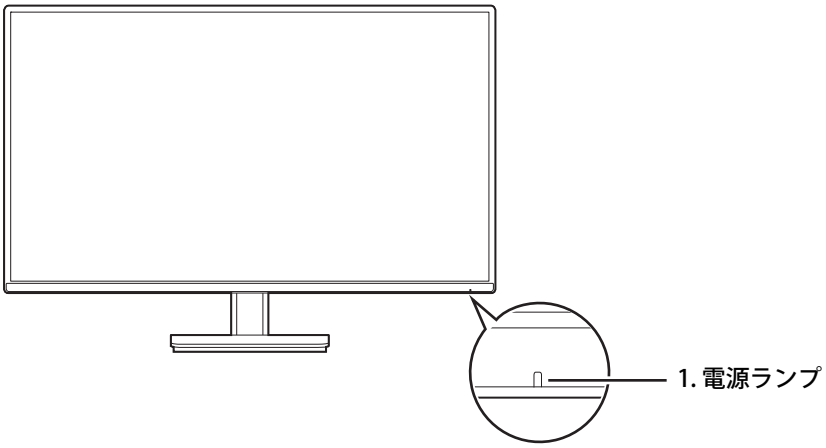
高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
●机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
●椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
●椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

■作業スペース

机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを使用して腕を支えましょう。

2　各部の名称と機能

■前面

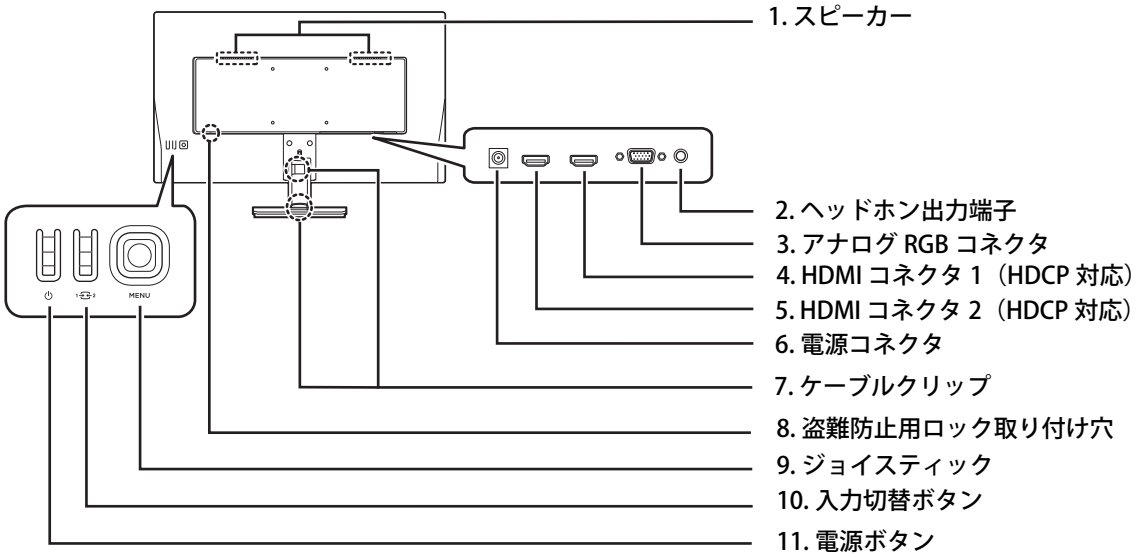


1　電源ランプ
本製品の電力状態を表します。
「省電力機能」（→ P.33）

POINT

▸ 電源ランプの状態が確認しにくいときは、視線を左右にずらして確認してください。

■背面



1 **スピーカー**
音声を出力します。

POINT

- アナログ RGB コネクタで接続しているときは、スピーカーから音声出力しません。

2 **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホンとオーディオケーブルで接続します。

3 **アナログ RGB コネクタ**
コンピューターとアナログ信号ケーブルで接続します。

4 **HDMI コネクタ 1（HDCP 対応）**
コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

5 **HDMI コネクタ 2（HDCP 対応）**
コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

POINT

- HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

6 **電源コネクタ**
添付の AC アダプタを接続します。

7 **ケーブルクリップ**
ケーブルをまとめて固定し、配線の乱れを防ぎます。

8 **盗難防止用ロック取り付け穴（ ）**
市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

9 **ジョイスティック（MENU）**
メニュー画面の表示や各種設定の変更を行うことができます。上下左右に動かしたり押したりして操作します。

10 **入力切替ボタン（1 2）**
メニューが表示されていないときに押すと、入力信号切替画面を表示します。画面表示後、ジョイスティックを操作して入力を切り替えます。

11 電源ボタン（⏻）
本製品の電源をオンまたはオフにします。

⚠注意

本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

3　ディスプレイドライバーのインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューターに接続後、最初に電源を入れたときに、本製品のディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニター」として設定を完了させ、その後ディスプレイドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- **お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニター」としてご使用ください。**

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のディスプレイドライバー（INF ファイル）は、「ディスプレイのマニュアル・関連アプリ」のページ（https://azby.fmworld.net/support/manual/display/）にある「ディスプレイ装置 INF ファイル」から、お使いの型名（K0AL0020JF) を検索してダウンロードしてください。

4　ディスプレイの設定

ディスプレイの設定は、ジョイスティックおよび入力切替ボタンを操作してメニュー画面で行います。

設定項目の内容

ディスプレイの設定は、メニュー画面で行います。

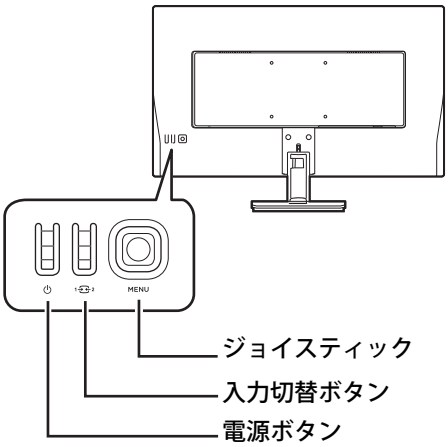
メニュー画面

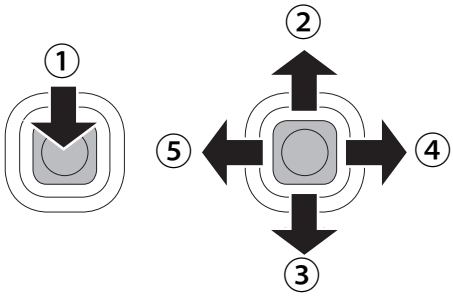
メニュー画面（ホットキー）

名称		機能
メニュー画面		ディスプレイの細かい設定を行います。
	輝度設定	画面の明るさやコントラスト、画面モードなどを設定します（→ P.25）。
	画面設定	画面の表示方法や応答速度に関する設定を行います（→ P.26）。
	色設定	色温度や赤、緑、青の色バランスを調整します（→ P.27）。
	メニュー設定	メニュー画面の設定を行います（→ P.28）。
	その他	入力信号や音量設定など、ディスプレイの各種動作に関する設定を行います（→ P.29）。
メニュー画面（ホットキー）		よく使う機能の設定を行います。
	音量	スピーカー出力の音量を調整します（→ P.20）。
	明るさ	画面全体の明るさを調整します（→ P.20）。
	コントラスト	画面全体のコントラストを調整します（→ P.21）。
	画面モード	コンテンツに応じた画面モードを設定します（→ P.21）。
	入力切替	入力コネクタを切り替えます（→ P.22）。

ジョイスティックとボタンの操作について

メニュー画面は、ジョイスティックと入力切替ボタンを操作して行います。





ジョイスティック

■ジョイスティックの操作

操作		通常時	メニュー画面（ホットキー）表示時	メニュー画面表示時
①	押す	メニュー画面の表示	設定値の保存	・調整項目の決定 ・設定値の保存
②	上に動かす	メニュー画面（ホットキー）音量設定画面の表示	ー	・調整項目の選択
③	下に動かす	メニュー画面（ホットキー）画面モード設定画面の表示	ー	・調整項目の選択
④	左（画面側から見た方向）に動かす	メニュー画面（ホットキー）コントラスト設定画面の表示	設定値の調整	・調整項目の選択 ・設定値の調整 ・メニュー画面の終了
⑤	右（画面側から見た方向）に動かす	メニュー画面（ホットキー）明るさ設定画面の表示	設定値の調整	・調整項目の選択 ・設定値の調整

■ボタンの操作

操作	通常時	メニュー画面（ホットキー）表示時	メニュー画面表示時
電源ボタン	電源のオンとオフの切り替え	ー	ー
入力切替ボタン	メニュー画面（ホットキー）入力切替画面の表示	ー	ー

メニュー画面のホットキーを操作する

メニュー画面のホットキーを使用して、よく使う機能をすばやく操作できます。

■音量を調整する

スピーカー出力の音量を調整します。

POINT

- VGA 接続時は、音量を調整できません。

1 ジョイスティックを上に動かします。
音量設定画面が表示されます。

2 ジョイスティックを左右に動かして、音量を調整します。

3 ジョイスティックを押すと画面が閉じ、設定が保存されます。

■画面の明るさを調整する

画面全体の明るさを調整します。

POINT

- 画面モードの設定が標準モード以外の場合は、明るさを調整できません。

1 ジョイスティックを右（画面側から見た方向）に動かします。
明るさ設定画面が表示されます。

2 ジョイスティックを左右に動かして、明るさ値を調整します。

3 ジョイスティックを押すと画面が閉じ、設定が保存されます。

■コントラストを調整する

画面全体のコントラストを調整します。

POINT

- **画面モードの設定が標準モード以外の場合は、コントラストを調整できません。**

1 **ジョイスティックを左（画面側から見た方向）に動かします。**
コントラスト設定画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを左右に動かして、コントラスト値を調整します。**

3 **ジョイスティックを押すと画面が閉じ、設定が保存されます。**

■画面モードを変更する

画面モードを変更すると、コンテンツに適した設定（明るさ、コントラスト）に調整できます。

名称	機能
標準	明るさ、コントラストを調整できる画面モードに設定します。
テキスト	テキスト向けの画面モードに設定します。
インターネット	インターネット向けの画面モードに設定します。
スポーツ	スポーツ向けの画面モードに設定します。
ゲーム	ゲーム向けの画面モードに設定します。
映画	映画向けの画面モードに設定します。
LBL	ブルーライトの放射量を抑えた画面モードに設定します。

1 **ジョイスティックを下に動かします。**
画面モード設定画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを左右に動かして、画面モードの設定を選択します。**

3 **ジョイスティックを押すと画面が閉じ、設定が保存されます。**

■入力信号を切り替える

入力信号を切り替えます。

●設定項目の内容

名称	機能
VGA	入力コネクタを「アナログ RGB」に切り替えます。
HDMI1	入力コネクタを「HDMI コネクタ 1」に切り替えます。
HDMI2	入力コネクタを「HDMI コネクタ 2」に切り替えます。

1 **入力切替ボタンを押します。**
入力切替画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを上下に動かし、入力信号を選択します。**

3 **ジョイスティックを押すと画面が閉じ、設定が保存されます。**

細かい設定を行う

メニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

■メニュー画面の操作方法

ジョイスティックを操作して設定を行います。

1 ジョイスティックを押して、メニュー画面を表示します。

2 ジョイスティックを上下に動かしてアイコンを選択した後、ジョイスティックを右（画面側から見た方向）に動かします。
設定項目を選択できる状態になります。

3 ジョイスティックを上下に動かして設定項目を選択した後、ジョイスティックを押して設定値を変更できる状態にします。

POINT

- メニュー画面の右下に ▼ または ▲ が表示される場合は、設定項目が 2 ページあります。ページが切り替わるまで、ジョイスティックを上下に動かしてください。

4 ジョイスティックを左右に動かして設定を変更した後、ジョイスティックを押して設定値を保存します。

POINT

- メッセージが表示された場合は、内容を確認し、「はい」または「いいえ」を選択してください。

5 ジョイスティックを左（画面側から見た方向）に 2 回動かして、メニュー画面を閉じます。

■輝度設定

画面の明るさやコントラスト、画面モードなどを設定します。

□ 調整項目の内容

名称		機能
コントラスト		画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。画面モードが「標準」の場合のみ設定できます。
明るさ		画面全体の明るさを調整します。画面モードが「標準」の場合のみ設定できます。
画面モード		コンテンツに適した設定（明るさ、コントラスト）に調整します。
	標準	明るさ、コントラストを調整できる画面モードに設定します。
	テキスト	文書作成に適した画面モードに設定します。
	インターネット	インターネットの閲覧に適した画面モードに設定します。
	スポーツ	動きのある映像に適した画面モードに設定します。
	ゲーム	ゲームに適した画面モードに設定します。
	映画	暗い映像に適した画面モードに設定します。
	LBL	ブルーライトを低減し、目への負担を軽減する表示に設定します。
DCR		ダイナミックコントラスト機能のオンまたはオフを設定します。

■画面設定

画面の表示方法や応答速度に関する設定を行います。

□調整項目の内容

名称		機能
画面のクロック		VGA 接続時に画面のクロックを調整します。
位相		VGA 接続時に位相を調整します。
水平位置		VGA 接続時に水平位置を調整します。
垂直位置		VGA 接続時に垂直位置を調整します。
アスペクト比		アスペクト比を「ワイド」または「4:3」に設定します。
オーバードライブ		応答速度を設定します。
	オフ	オーバードライブ機能を無効にします。
	強	応答速度を速くし、残像を低減します。
	弱	応答速度をやや速くし、残像を低減します。

■色設定

□調整項目の内容

名称		機能
カラーモード		色温度や赤、緑、青の色バランスを調整します。
	標準	色温度を標準色に設定します。
	寒色	色温度を青みがかった色に設定します。
	ユーザー設定	赤、緑、青の色割合をそれぞれ設定します。
	sRGB	色温度を sRGB に設定します。
	暖色	色温度を赤みがかった色に設定します。
赤		画面の赤色の強さを調整します。ユーザー設定時に設定できます。
緑		画面の緑色の強さを調整します。ユーザー設定時に設定できます。
青		画面の青色の強さを調整します。ユーザー設定時に設定できます。

■メニュー設定

□調整項目の内容

名称	機能
水平位置	メニュー画面の水平位置を設定します。
垂直位置	メニュー画面の垂直位置を設定します。
タイムアウト	メニュー画面の表示時間を調整します。
言語	メニュー画面やメッセージの表示言語を、日本語または英語に設定します。

■その他

□調整項目の内容

名称		機能
入力信号		入力信号を切り替えます。
	自動	入力信号が検出されたコネクタに自動で切り替えます。
	HDMI1	入力コネクタを「HDMI1」に切り替えます。
	HDMI2	入力コネクタを「HDMI2」に切り替えます。
	VGA	入力コネクタを「アナログ RGB」に切り替えます。
DDC/CI		VESA DDC/CI 機能をオンまたはオフにします。 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。
音量		スピーカー出力の音量を調整します（VGA 接続時は除く）。
ミュート		スピーカー出力のミュートをオンまたはオフにします。
Reset （ENERGY STAR®）		ご購入時の設定に戻します。
情報		解像度、水平周波数、垂直周波数、FW バージョンなどの情報を確認できます。
	解像度	現在入力されている「解像度」を表示します。
	水平周波数	現在入力されている「水平周波数」を表示します。
	垂直周波数	現在入力されている「垂直周波数」を表示します。
	FW バージョン	「ファームウェアバージョン」を表示します。
	S/N	「シリアル番号」を表示します。

ロック機能

本製品には、電源ボタンやメニュー画面（OSD 画面）をロックする機能が搭載されています。ジョイスティックやボタンをロックすることで、第三者による設定変更や誤操作を防止できます。

■電源ボタンをロックする

メニュー画面が表示されていない状態でジョイスティックを上に 5 秒以上押し続けると、「電源ボタンロック」と表示され、電源ボタンをロックします。

POINT

- **電源ボタンのロックを解除する場合も、ジョイスティックを上に 5 秒以上押し続けてください。「電源ボタンロック解除」と表示され、電源ボタンのロックを解除します。**

■メニュー画面をロックする

メニュー画面が表示されていない状態でジョイスティックを右（画面側から見た方向）に 5 秒以上押し続けると、「OSD ボタンロック」と表示され、メニュー画面をロックします。

POINT

- **メニュー画面のロックを解除する場合も、ジョイスティックを右（画面側から見た方向）に 5 秒以上押し続けてください。「OSD ボタンロック解除」と表示され、メニュー画面のロックを解除します。**

5　その他の接続方法

アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

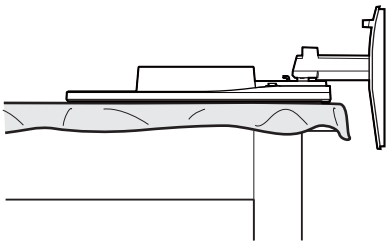
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。

重 要

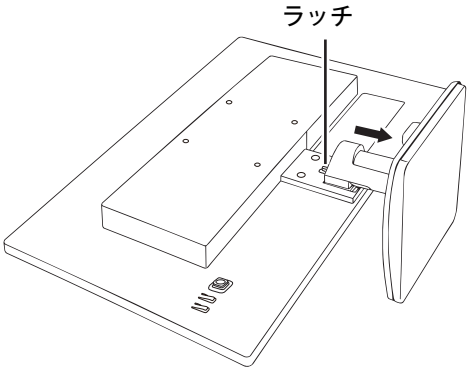
- 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
  - ・取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm×100mm である
  - ・M4×10mm のネジで取り付けができる
  - ・8kg の重さに耐えられる
- ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに付属しているもの（M4×10mm）を必ず使用してください。
- ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- アームまたは壁掛けキットの取り付けおよび設置を行うときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



3 真ん中のラッチを押したまま、スタンドをスライドさせ、取り外します。



POINT

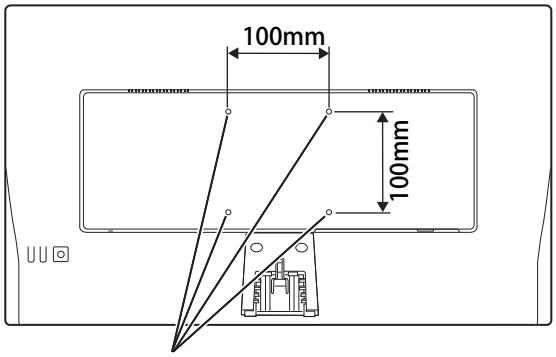
- 取り外したスタンドは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

⚠注意

スタンドを必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。

4 **本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。**

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに付属しているネジ 4 本（M4×10mm）で確実に締めてください。ネジが締めにくい場合は、プラスドライバーを使用してください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

5 **アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。**

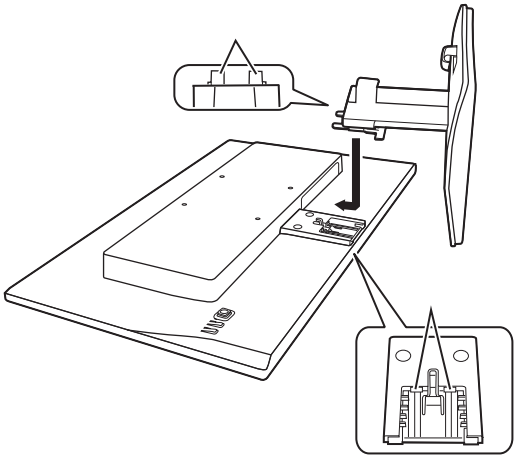
POINT

- アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

■取り外したスタンドを取り付ける

取り外したスタンドを取り付ける場合には、取り外した手順と逆の方法で行います。

1 **スタンド上部のツメ（2ヶ所）を、ディスプレイのツメ穴に合わせてはめ込みます。**



6　省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。
省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。
本製品は、コンピューターの制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの状態	本製品の動作				本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	
通常状態	表示あり	AC アダプタ	オン	青	最大時：22W 注 1
					標準設定時：15W 以下注 2
スリープまたは休止状態	表示なし	AC アダプタ	オン	オレンジ	省電力動作時：0.5W 以下
オフ状態	表示なし	AC アダプタ	オフ	消灯	電源オフ時：0.5W 以下注 3

注 1 ： 輝度最大時の状態です。

注 2 ： ご購入時の状態での消費電力です。

注 3 ： 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0W にすることができます。

7　トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『スタートガイド』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している。	電源ケーブルおよび AC アダプタが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルおよび AC アダプタを正しく、奥まで確実に接続してください。	『スタートガイド』－「コンピューターと接続する」
	電源が入っていない。	コンピューターの電源が入っていることを確認し、電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.14）
「信号なし」の表示後、電源ランプがオレンジ色に点灯している。	コンピューターが省電力状態になっている。	キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（→ P.33）
	HDMI ケーブルが、本製品またはコンピューターに正しく接続されていない。	本製品およびコンピューターに HDMI ケーブルを正しく接続してください。	『スタートガイド』－「コンピューターと接続する」
「周波数が仕様外です」の表示後、電源ランプがオレンジ色に点灯している。	コンピューターの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの電源を切り、その後電源を入れてください。	「標準表示仕様」（→ P.41） コンピューターのマニュアル

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる。	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より、明るさを調整してください。	「画面の明るさを調整する」（→ P.20）
画面が暗くなった。	液晶パネル内部の LED バックライトが、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「FMV パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	『スタートガイド』
画面の縦横比が崩れてしまう。	コンピューターの設定が推奨解像度以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を推奨解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」（→ P.41） コンピューターのマニュアル
次のメッセージが表示される。 「周波数が仕様外です」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.41） コンピューターのマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある。	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	ー
表示画面にむらがある（もやもやしている）。	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.14）
画面が表示されない。	入力信号が正しく設定されていない。	メニュー画面より、入力信号を設定してください。	「入力信号を切り替える」（→ P.22）
画面全体が黒、白、赤、緑、青と変化する状態になる。	テストモードになっている。	電源ボタンを押して、本製品の電源を一度オフにして、再度オンにしてください。	ー

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される。 「周波数が仕様外です」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.41） コンピューターのマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない。	音量が 0 になっている。	メニュー画面より、音量を 0 から上げてください。	「音量を調整する」（→ P.20）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面より、音量を調整してください。	「音量を調整する」（→ P.20）
	ミュートが「オン」に設定されている。	メニュー画面より、ミュートを「オフ」に設定してください。	「その他」（→ P.29）
	コンピューターの音量設定が最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューターのマニュアル
	コンピューターの音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に 🔇 と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の 🔇 をクリックして音量つまみを表示し、🔇 をクリックして 🔊 にしてください。	コンピューターのマニュアル
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力をやめる仕様となっております。	「省電力機能」（→ P.33）
	コンピューターと、アナログ信号ケーブルで接続している。	コンピューターと HDMI ケーブルで接続し直してください。	ー

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる。	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	ー
電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする。	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	ー

8　日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューターから抜いてください。

重 要

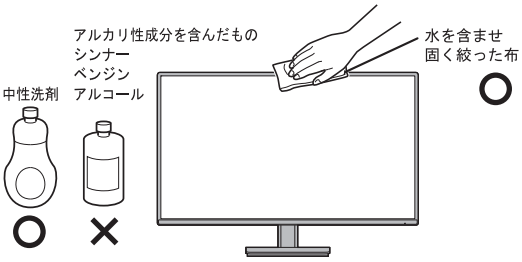
- 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだもの
  - など
- 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
  - ・柔らかい布をご使用ください。
  - ・力を入れすぎないようにしてください。
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

■画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

■カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品内部に水が入らないように充分注意してください。



9　リサイクル

■PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークが付けられています。PC リサイクルマークが付いた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収、再資源化いたします。

■本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、「FMV パソコンリサイクル」のページ（https://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

10 仕様

本体仕様

項目		仕様
入出力 I/F（コネクタ）	HDMI コネクタ	映像信号：デジタル、HDMI、（TMDS/HDCP 対応）
	アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）	映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL）0.7Vp-p（正極性）、75Ω インピーダンス
	ヘッドホン出力端子（φ3.5 ステレオミニジャック）	音声信号：ステレオ
表示部	画面サイズ	23.8 型
	表示寸法	527.1mm （H）×296.5mm（V）
	液晶パネル	TFT カラー液晶、In-Plane Switching、LED バックライト
	解像度	1920×1080 ドット
	画素ピッチ	0.2745mm×0.2745mm
	表示色	1677 万色
	輝度	250cd/m^2
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	14ms（オーバードライブ時 7ms/4.5ms）
	視野角	上下 178°、左右 178°
機能	表示モード	640×480、720×400、800×600、1024×768、1152×864、1280×1024、1366×768、1440×900、1600×900、1680×1050、1920×1080
	プラグ＆プレイ	DDC 2B/CI（VESA）注 1
	チルト注 2	下 3°　～上 21°
	壁掛け	100mm×100mm（VESA 規格対応）
電源	AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（1.9A）
	最大消費電力	22W
	最小消費電力（省電力動作時注 3）	0.5W 以下
	電源ボタン「オフ」時注 4	0.5W 以下
音声部	最大出力	2.0W×2
	スピーカー	ステレオ
	再生周波数帯域（ユニット）	200Hz ～ 20kHz
外形寸法		541.6mm（W）×170.9mm（D）× 382.5mm（H）
質量		約 2.9kg（本体）　約 2.7kg（表示部）
使用環境	温度	10 ～ 35 ℃
	湿度	10 ～ 80%

注 1 ： 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2 ： 記載の数値は代表値（Typ 値）であり、製品の個体差により異なる場合があります。

注 3 ： コンピューターで設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 4 ： 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0W にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

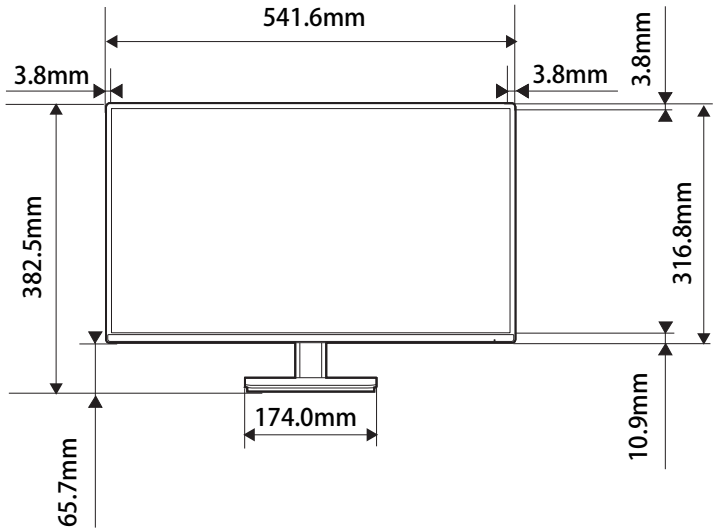
○：表示可能　◎：推奨解像度（モード）

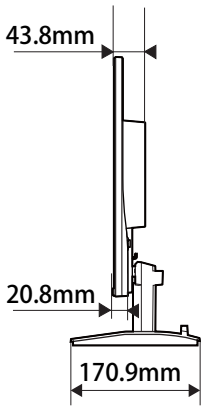
解像度（モード）	リフレッシュレート（Hz）	表示可能解像度（モード）	
		VGA	HDMI
720×400	70	○	○
640×480	60	○	○
	75	○	○
	120	―	○
800×600	60	○	○
	75	○	○
	120	―	○
1024×768	60	○	○
	75	○	○
	120	―	○
1152×864	60	○	○
	120	―	○
1366×768	60	○	○
	120	―	○
1600×900	60	○	○
	120	―	○
1280×1024	60	○	○
	75	○	○
	120	―	○
1440×900	60	○	○
	120	―	○
1680×1050	60	○	○
	120	―	○
1920×1080	60	◎	○
	120	―	◎

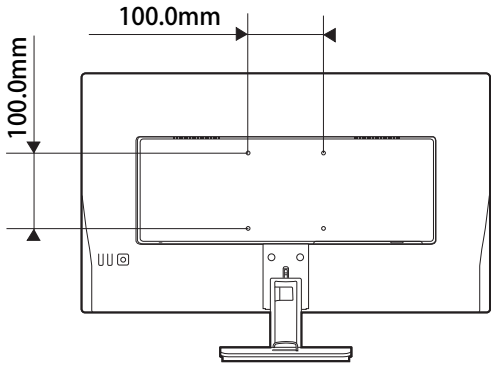
重要

- 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- 1920×1080 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品質を保証するものではありません。

外形図


541.6mm
3.8mm
3.8mm
3.8mm
382.5mm
316.8mm
174.0mm
10.9mm
65.7mm


43.8mm
20.8mm
170.9mm


100.0mm
100.0mm

FMV Display E2403 取扱説明書
B6FY-6241-01 Z0-00
発行日　2026 年 10 月
発行責任　富士通クライアントコンピューティング株式会社
〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎ツインタワー（ウエストタワー）

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。